

コ	ス	歯科矯正学・歯科矯正学実習 (Orthodontics Lecture & Lab class)	
学年・期・単位	第4学年・前期・2単位	科目担当責任者	佐藤 貞雄 (成長発達歯科学講座 歯科矯正学分野・教授)
オフィスアワー	毎週火曜日16:30~18:00 (成長発達歯科学講座教室)	メールアドレス	
一般目標 (GIO)	哺乳動物のヒトに位置づけられる人間は、その進化の過程で特異に変化を遂げた動物である。その特徴は全身骨格の直立と脳の発達にある。それゆえヒトの生後発育は形態医学的にも心身生理医学的にも社会文化的環境に大きく影響される。特に原始動物の鰓腸に由来する顎顔面、口腔系の発育は成人以降の健康の維持にとって極めて重要である。そこで、成人に至るまでの成長発育期の口腔を健全に育成する総合的歯科医療としての成長発達歯科学の知識と技術を身につけるために、正常な小児の成長発育を理解し、そこで起こる病気および成長の偏位などの種々の異常に対する処置や予防法について理解する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 正常咬合と不正咬合	正常咬合と不正咬合の特徴を理解する。
2. 不正咬合の診断	不正咬合の原因を理解し、診査、検査、診断、治療計画立案法を理解する。
3. 矯正装置	矯正装置の種類と作用について理解する。
4. 不正咬合と顎関節	顎関節の構造と機能路理解し、顎関節疾患と不正咬合との関連性について理解する。
5. 矯正装置の基礎	各種矯正装置の製作法について理解する。
6. 不正咬合の矯正治療	異なる不正咬合の検査、診査および治療法について習得する。
7. 矯正治療と保定	矯正治療後の保定の意義について理解する。
8. ふり返り総合学習	講義ユニットを理解する。

教科書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
A 第5版歯科矯正学	葛西一貴 他著	医歯薬出版

参考書〈講義〉		
書名	著者名等	発行所
最新 歯科矯正アトラス	井上直彦、鈴木祥井	医歯薬出版

評価法 (EV)
中間試験 (20%)、前期本試験 (30%) 実習課題毎の実績結果による総合評価 (50%) による総合評価。

授業計画 (講義)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/4	正常咬合と不正咬合	1. 診断に必要な一般の診査が列挙できる。 2. 調査事項用紙から既往歴、家族歴、現病歴が診査できる。 3. 顔貌および口腔内診査ができる。 4. 診断に必要な検査が列挙できる。 5. 口腔内模型の診査ができる。 6. X線写真の診査ができる。 7. 現症を概括的に把握できる。	B P23~39。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 小田博雄	F-4-1)-④
2	4/11					各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C 各Ⅲ-(Ⅲ)-5-B~F
3	4/18	不正咬合の診断	1. 診断に必要な分析が列挙できる。 2. 頭部X線規格写真の診査ができる。 3. 側貌頭部X線規格写真計測法ができる。 4. 正貌頭部X線規格写真計測法ができる。 5. 顎顔面骨格形態の特徴を概括的に把握できる。 6. 模型分析ができる。 7. 頭部X線規格写真を用いて機能分析ができる。 8. 成長曲線図表を用いて成長分析ができる。 9. 分析結果を説明できる。	B P40~55、57~68。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 小田博雄	F-4-1)-④ F-2-3)-⑤
4	4/25					各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-2 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-1 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-3 総Ⅰ-(Ⅱ)-3-G-a
5	5/2	矯正装置	1. 唇舌側弧線装置について理解し説明できる。 2. 上顎前方牽引装置について理解し説明できる。 3. 顎外固定装置について理解し説明できる。 4. 床矯正装置について理解し説明できる。 5. 拡大装置について理解し説明できる。 6. 機能的装置について理解し説明できる。	A P199~209。 スライド、板書による解説。	佐藤貞雄 三宅真次郎	F-4-1)-⑥  各Ⅲ-(Ⅲ)-12-A、B
6	5/9	顎関節不正咬合と	1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。	A P59~65。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 笹栗健一	F-4-1)-⑧  各Ⅲ-(Ⅳ)-1-A
7	5/16	矯正装置	矯正治療中の口腔清掃、矯正装置の管理について説明できる。	A P337~342。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑦⑧⑨  各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C 各Ⅲ-(Ⅲ)-9-A、B
8	5/23	矯正装置の基礎	各種矯正装置の製作法について説明できる。	B P197~245。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 三宅真次郎	F-4-1)-⑤~⑦  各Ⅲ-(Ⅲ)-10A-12B
9	5/30		各種矯正装置の製作法について説明できる。	B P197~246。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 猿田樹理	F-4-1)-⑤~⑦  各Ⅲ-(Ⅲ)-B-1
10	6/6	治療と保定	矯正治療における保定の意義および方法について説明できる。	A P303~310。 資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 猿田樹理	F-4-1)-⑦~⑨  各Ⅲ-(Ⅲ)-15-A~D
11	6/13	不正咬合の矯正治療	1. 不正咬合の治療に必要な咬合の概念を理解し説明できる。 2. 下顎前突症の発現機序とその矯正治療について説明できる。	A P267~298。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑦~⑨  各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C
12	6/20		1. 開咬症の発現機序とその矯正治療について説明できる。 2. 下顎側方偏位症の発現機序とその矯正治療について説明できる。	A P267~298。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-⑦~⑨  各Ⅲ-(Ⅲ)-14-A~C
13	6/27	矯正装置の基礎	各種矯正装置について説明できる。	資料配布、スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 窪田光慶	F-4-1)-⑤~⑦  各Ⅲ-(Ⅲ)-B-1
14	7/4	不正咬合の矯正治療	下顎後退症の発現機序とその矯正治療について説明できる。	A P267~298。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	F-4-1)-①~⑨  各Ⅲ-(Ⅲ)-16-A、B
15	7/11	合学学習 振り返り総	歯科矯正学の講義ユニットを総合的に理解し説明できる。	A P303~310。 スライド、板書により解説する。	佐藤貞雄 秋本 進	

実習ユニット	一般目標 (GIO)
1. 矯正装置製作の基礎	矯正装置製作に必要な線屈曲、鑑着ができる。
2. 正常咬合と不正咬合	正常咬合と不正咬合の特徴を理解する。
3. 不正咬合の診断	不正咬合の原因を理解し、診査、検査、診断、治療計画立案法を理解する。
4. 矯正装置の製作	矯正装置の製作について理解する。
5. 顎関節と咬合	顎関節の構造と機能を理解し、その異常が引き起こす不正咬合を理解する。
6. 矯正治療中の管理	矯正装置の取り扱いや口腔衛生指導を理解する。
7. ふり返り総合学習	実習ユニットを理解する。

教科書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
B 歯科矯正学実習書	鈴木祥井 他	医歯薬出版

参考書〈実習〉		
書名	著者名等	発行所
最新 歯科矯正アトラス	井上直彦、鈴木祥井	医歯薬出版

評価法 (EV)
中間試験 (20%)、前期本試験 (30%) 実習課題毎の実績結果による総合評価 (50%) による総合評価。

授業計画 (実習)						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/4	矯正装置製作の基礎	1. 矯正線の屈曲ができる。 2. 自在鑑着ができる。 3. 補助弾線の鑑着ができる。	B P140～146。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤～⑦
2	各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-2					
3	4/11	正常咬合と不正咬合	1. 診断に必要な一般的診査が列挙できる。 2. 調査事項用紙から既往歴、家族歴、現病歴が診査できる。 3. 顔貌および口腔内診査ができる。 4. 診断に必要な検査が列挙できる。 5. 口腔内模型の診査ができる。 6. X線写真の診査ができる。 7. 現症を概括的に把握できる。	B P23～39。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-④
4	各Ⅲ-(Ⅲ)-4-A～C 各Ⅲ-(Ⅲ)-5-B～F					
5	4/18	不正咬合の診断	1. 診断に必要な分析が列挙できる。 2. 頭部X線規格写真の診査ができる。 3. 側貌頭部X線規格写真計測法ができる。 4. 正貌頭部X線規格写真計測法ができる。 5. 顎顔面骨格形態の特徴を概括的に把握できる。 6. 模型分析ができる。 7. 頭部X線規格写真を用いて機能分析ができる。 8. 成長曲線図表を用いて成長分析ができる。 9. 分析結果を説明できる。	B P40～55、57～68。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-④ F-2-3)-⑤
6	各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-2 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-1 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-A-3 総Ⅰ-(Ⅱ)-3-G-a					
7	4/25		1. 不正咬合による障害を説明できる。 2. 不正咬合の原因を説明できる。 3. 不正咬合の分類ができる。 4. 不正咬合の構成する不正要因の把握ができる。 5. 診断結果を説明できる。	B P86～106。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-①～④ F-2-3)-④
8	各Ⅲ-(Ⅲ)-3-A 各Ⅲ-(Ⅲ)-2-A～C 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-B 各Ⅲ-(Ⅲ)-6-C-3、4					
9	5/2		1. 診断結果にもとづいて治療目標を設定できる。 2. 診断結果にもとづいて治療の時期を説明できる。 3. 診断結果にもとづいて矯正治療を説明できる。 4. 成長発育過程にもとづいて治療計画を説明できる。	//	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-④ F-2-3)-④
10	各Ⅲ-(Ⅲ)-6-D、E					
11	5/9	顎関節と咬合	1. 顎運動の採得ができる。 2. 顎運動採得結果を分析できる。	A P326～331。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-④
12	総Ⅰ-(Ⅲ)-2-C-a、c					
13	5/16	矯正装置の製作	1. 舌側弧線装置の構造、作用機序、適応症を説明できる。 2. 大白歯への帯環調整ができる。 3. 作業模型が製作できる。	B P134～136。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤⑥
14	各Ⅲ-(Ⅲ)-10-A 各Ⅲ-(Ⅲ)-10-B-1、2 各Ⅲ-(Ⅲ)-13-A-3 各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-2					
15	5/23		1. 帯環への維持装置の鑑着ができる。 2. 主線およびSTロックの屈曲ができる。 3. 主線およびSTロックの鑑着ができる。	B P137～139。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤⑥ 各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-2

授業計画〈実習〉							
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準	
16	5/23	矯正装置の製作	1. 帯環への維持装置の鑑着ができる。 2. 主線および ST ロックの屈曲ができる。 3. 主線および ST ロックの鑑着ができる。	B P137～139。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤⑥  各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-2	
17	5/30		1. 補助弾線の鑑着ができる。 2. 舌側弧線装置の力系を理解し歯の移動ができる。	B P140～146。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤～⑦	
18							各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-2
19	6/6		1. ブラケット装置の構造、作用機序、適応症について説明できる。 2. ブラケットを歯面に接着できる。	A P215～227。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤ F-4-1)-⑥	
20							各Ⅲ-(Ⅲ)-11-A、B 各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-1
21	6/13		1. 矯正線の屈曲ができる。 2. 矯正線をブラケットに結紮できる。	A P215～227。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑤⑥	
22							各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-1
23	6/20		ブラケット装置の力系を理解し歯の移動ができる。		佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑥⑦	
24				//			各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-1
25	6/27		ブラケット装置の力系を理解し歯の移動ができる。	A P215～227。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑥⑦	
26							各Ⅲ-(Ⅲ)-12-B-1
27	7/4		矯正治療中の管理	1. 矯正装置の種類を列挙できる。 2. 可撤式装置の取り扱いを説明できる。 3. 固定式装置の取り扱いを説明できる。 4. 保定装置の取り扱いを説明できる。 5. 装置装着時の歯科口腔衛生指導ができる。	A P197～245。 資料配布、板書、スライド、パワーポイントにより解説する。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	F-4-1)-⑥～⑨
28							
29	7/11		ふり返り総合学習	自分の習熟度を理解できる。	筆記試験あるいは補講を行う。	佐藤貞雄 歯科矯正学分野教室員全員	
30							